

定期予防接種について

お子様の予防接種の種類と回数（標準的な接種年齢を参考に接種してください）

	予防接種の種類		接種時期		回数・間隔	出生時																									
			対象年齢	標準的な接種年齢		2か月	3か月	4か月	5か月	6か月	7か月	8か月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳			
定期 予防 接種	不活化ワクチン 小児用肺炎球菌	初回	生後2か月～5歳未満	* 初回接種開始 生後2か月～7か月未満	27日以上の間隔をにおいて3回を2歳未満（標準的には1歳未満）までに行う	↓	↓	↓									↓														
		追加		初回接種終了後60日以上あけて1歳以降に、標準的には1歳～1歳3か月未満に1回																											
	不活化ワクチン B型肝炎		1歳未満	生後2か月～9か月未満	27日以上の間隔をにおいて2回を接種した後、1回目接種から139日（20週）以上の間隔をにおいて1回	↓	↓						↓																		
	生ワクチン ロタウイルス	1価（ロタリックス）	生後6週～24週まで	初回接種は 生後2か月～生後14週6日まで	4週間以上の間隔をにおいて2回	↓	↓																								
		5価（ロタテック）	生後6週～32週まで		4週間以上の間隔をにおいて3回	↓	↓	↓																							
	不活化ワクチン 5種混合 (ジフテリア・百日せき・破傷風・ポリオ・ヒブ)	1期 初回	生後2か月～7歳6か月未満	* 初回接種開始 生後2か月～7か月未満	20日以上、標準的には20日～56日までの間隔をにおいて3回	↓	↓	↓										↓													
		1期 追加		初回接種終了後6か月～1年6か月までの間隔をおく	初回接種終了後6か月以上の間隔をにおいて1回																										
	生ワクチン BCG（結核）		1歳未満	生後5か月～8か月未満	1回								↓																		
	生ワクチン 麻しん・風しん	1期	1歳～2歳未満		1回													↓													
		2期	小学校に就学する前年度内		1回															↓											
	生ワクチン 水痘（水ぼうそう）		1～3歳未満	1回目は 1歳～1歳3か月未満	3か月以上、標準的には6か月～1年までの間隔をにおいて2回													↓	↓												
	不活化ワクチン 日本脳炎	1期 初回	生後6か月～7歳6か月未満	3歳	6日以上、標準的には6～28日までの間隔をにおいて2回																										
		1期 追加		4歳	初回接種終了後6か月以上、標準的にはおおむね1年を経過した時期に1回																										
		2期		9歳～13歳未満	9歳	1回																									
	不活化ワクチン 二種混合 (DT：ジフテリア・破傷風)		11歳～13歳未満	11歳	1回																										
	不活化ワクチン HPV (ヒトパピローマウイルス：子宮頸がん)	2価 (サーバリックス)	12歳になる年度初日から16歳になる年度末日までの女子 (小学6年～高校1年相当)	13歳になる年度初日から年度末日までの女子 (中学1年相当)	1か月以上あけて2回 1回目から6か月以上あけて1回　計3回																										
		4価 (ガーダシル) 9価 (シルガード)			2か月以上あけて2回 1回目から6か月以上あけて1回　計3回																										
接任 種意	生ワクチン おたふくかぜ		1歳以上5歳未満に助成	1歳～2歳未満までを推奨	1回（日本小児科学会は、より確実に免疫をつけるため、麻しん・風しんワクチン2期と同時期に2回目の接種を推奨）																										

※上記回数・間隔以外での接種については「予防接種と子どもの健康」をご覧ください。 笠間市健康医療政策課にお問い合わせください。



ほかの予防接種との間隔のあけ方

注射生ワクチン

BCG
麻しん・風しん
水痘
おたふくかぜ

27日(4週間)
以上あける

注射生ワクチン

BCG
麻しん・風しん
水痘
おたふくかぜ

※上記以外の予防接種は、翌日からほかの種類の予防接種を実施可能です。



こんな場合は接種は受けられません

1. 明らかに発熱(37.5℃以上)している
2. 重い急性の病気にかかっている
3. 接種を受けようとするワクチン成分で、アナフィラキシーをおこしたことがある
アナフィラキシーとは、接種後30分以内におこるひどいアレルギー反応です
4. BCGを受ける場合は、外傷などによるケロイドが認められる
5. B型肝炎予防接種の対象者で、母子感染予防として、出生後にB型肝炎ワクチンの接種を受けた
6. ロタウイルス感染症予防接種の対象者で、腸重積症の既往歴があることが明らかな者、治療を完了していない先天性消化管障害を有する者、重症複合免疫不全症の所見が認められる者
7. その他、予診で医師が予防接種をおこなうのが適当でないと判断したとき



予防接種を受けるときに注意が必要です。 医師とよく相談しましょう

1. 心臓病や腎臓病、肝臓病、血液の病気や発育障害などで治療を受けている
2. 予防接種後2日以内に発熱や発疹などのアレルギー反応をおこしたことがある
3. 過去にけいれん(ひきつけ)をおこしたことがある
4. 過去に免疫不全の診断を受けている、または近親者に先天性免疫不全症の方がいる
5. 接種を受けようとするワクチンの成分で、アレルギーをおこす恐れがある
6. ラテックス過敏症(天然ゴムの製品に対する即時型の過敏症)がある
7. BCG接種の場合は、結核患者と長期に接触があった場合
8. ロタウイルス接種の場合は、活動性胃腸疾患や下痢等の胃腸障害がある

病気にかかってしまった場合の接種間隔(目安)

治ってから次の期間をおいて接種しましょう。

- 麻しん、風しん、水痘、おたふくかぜ …… 2～4週間程度
- その他のウイルス性疾患 …… 1～2週間程度
(突発性発疹、手足口病、伝染性紅斑など)



対象年齢

予防接種法で定められた年齢。無料で接種できます。



任意予防接種の費用の一部助成について

	おたふくかぜ	小児インフルエンザ
対象者	1～5歳未満	1歳(接種日現在)～ 中学3年生
助成回数	1回	1歳～12歳 2回 ※経鼻接種は1回
		13歳～中学3年生 1回
1回あたりの 助成額	3,000円	1,000円

※笠間市から転出した場合は、笠間市の予診票は使用できませんので転出先の市町村へお問合せ下さい。